

あなたの一票で太良町を残して下さい

良夫 住民投票まで、いよいよあと数日だね。だけど、合併に賛成か、反対かで迷っている人も沢山いるよ。
太郎 賛成か、反対かのモノサシは次の通りではないだろうか。3つにまとめてみた。

声のとどかぬ太良町を選びますか！

良夫 合併したら、太良町の声が届かなくなるのではないかと心配している人が多いね。
太郎 市議会の定数は26名だが、人口の割合からいくと太良から出る議員は6~7人程度になる。鹿島の人絶対多数になるね。

良夫 これでは、太良のことをどれだけ言っても通らなくなる。
太郎 合併協議では、太良の水道料はあげないとか、総合支所をおくとか決めてあるけど、合併した後の市議会がそれを守っていくかどうかの保証はない。

良夫 百武町長も、合併後のことは合併後の執行部が決めると言っていたけどそうだね。「財政難だから、水道料をあげよう、総合支所は縮小しよう」となったら、太良の住民がいくら反対してもとおってしまうね。

太郎 ある町会議員さんが、大浦支所のことでこんなことを言っていたよ。「合併しなければ、大浦支所が廃止になることはない。太良町議会が承知することはない。合併すれば、鹿島中心の市議会になって廃止されてしまう」というんだ。

良夫 喰場の人も「まだ、太良町だから喰場みたいな山間部にも行政の光が当たる。合併したら、鹿島の市街地中心の市政になって山間部は真っ先に切り捨てられてしまう」と言っていたよ。やっぱり、太良の町議会や役場をどうしても残しておかねばならないね。

反	賛
対	成

さびれ行く太良町を選びますか！

良夫 合併すれば、太良がさびれてしまうことは、七浦や浜を見れば誰にでもわかるよ。
太郎 役場がついているお金は、1年間に約50億円ぐらいだが、人件費とか物品の購入、仕事の発注などで太良の経済をうるおしてきた。潤滑油みたいなものだ。
良夫 合併すると潤滑油が切れてしまうんだね。役場や職員を相手に商売していたところはたち

まち商売に影響することははっきりしている。だけど、合併したら、鹿島まで仕事を広げられると思っている人もいるよ。

太郎 それは甘いよ。ガソリンスタンドの主人がこんなことを言っていた。「単価ではとても鹿島の大きな業者には勝てない。入札になったら、鹿島にとられてしまうのは間違いない」

良夫 役場がなくなってくらしが不便になれば、太良から出て行く人も多くなってしまうね。
太郎 だから、どうしても役場を残さねばならない。

子供たちに太良町を残そう！

良夫 合併推進の人たちは、子供や孫のために合併しようと言っている。だけど、おかしいね。合併したら、太良は不便になり、さびれてしまう。こんなところに、子供や孫が住めるだろうか。ムードで言っているだけだね。

太郎 太良町を残せば、百武町長がいつも言っているように、ミカンやカニ、牛や豚など太良の美味しいものを生かした町づくりを進めることができる。農産物や海産物を生かした食品産業を発展させ、太良の食・温泉・海山を生かした観光・サービス業を発展させることができる。そうすれば、子供たちのために働く場所を作ることができる。

良夫 やっぱり、太良町を残すことが子供や孫のためなんだね。

みなさんのお力で、 合併反対に をつける人を増やして下さい

合併推進側は、住民投票前に調印式を強行して、町民に「もう合併は決まってしまった」と思わせようとしています。こんな卑怯なやり方に負けないで、住民投票で必ず勝ちましょう。みなさんのお力で、合併反対に をつける人を1人だも多く増やしていただくようお願いします。

合併反対・太良町を残そう

No.27 2004.6.9

発行 合併反対・太良町を残す町民協議会

連絡先 北町 川上賢二 Tel 67-9072

ホームページ <http://www2.saganet.ne.jp/ken-1941>

合併しなくても必要な建設事業費は確保できる

良夫 町内の一部の建設会社の敷地や現場に「合併賛成に」の看板が立っているね。

太郎 合併推進側は、建設関係を合併賛成でまとめようとしているようだ。太良の建設業者にとって、合併した方がいいのか、太良町を残した方がいいのか考えてみよう。

合併したら、ゼネコンや鹿島の業者にとられて、 太良まで仕事はまわってこない

太郎 建設業のみなさんの「仕事が欲しい」という気持ちは痛いほどわかる。財政が厳しくなる中で、公共事業にまわる予算が削られ、建設関係の会社は仕事がへって苦労している。

良夫 だから、「合併したら仕事がもらえる」といって、合併賛成に取り込もうとしているんだね。

太郎 だけど、合併したら太良の業者まで仕事がまわってくるだろうか。この数年の太良と鹿島の公共事業費をくらべてみると、鹿島の落ち込みが圧倒的に大きい。15年度の公共事業費は鹿島も太良も同じ16億円台だ。

良夫 公共事業費削減の影響は鹿島の方がはるかに大きいということだね。鹿島の建設業者が太良へもどんどん進出してきているのはそのせいだね。合併したらどうなるだろう。

太郎 合併したら特例債をつかって大型の公共事業がでるだろうが、そんな大型の公共事業を太良の業者がとれるだろうか。

良夫 県外のゼネコンや鹿島の大きい業者がとってしまう。太良の業者にはまわってこないよ。いつだったか、テレビで合併した後の公共事業を大きい方の市（市長を取った方の市）の業者がほとんど独り占めしているということを放送していたよ。太良と鹿島が合併したら同じことになるんじゃないか。これまで、太良の業者がやっていた仕事まで取られてしまうよ。

太郎 鹿島の経済界は、合併特例債目当てに太良との合併を進めている。合併した後のうまみなんてほんの一時的なものだ。それを、太良に分けてやる余裕なんてないよ。

太良町を残して、行財政改革をすれば、 必要な公共事業費は確保できる

良夫 それじゃ、合併しないでも太良で仕事を確保できるのかね。

太郎 合併協議会や太良町役場が作った資料が、太良町内でむこう20年間に見込まれる公共事業に必要な財源はほぼ確保できることを明らかにしている。次の表は、合併協議会が作った「新市まちづくり計画」に掲げてある建設事業費と合併した場合、合併しなかった場合の施策可能経費をそれぞれくらべたものだ。

	鹿島市	太良町	合計	数字の根拠
合併した場合の施策可能経費			310億円	合併協議会の財政シミュレーション
合併しなかった場合の施策可能経費	219億円	81億円	300億円	鹿島市、太良町の「財政試算」
新市まちづくり計画の建設事業費	265億円	90億円	355億円	合併協議会の財政シミュレーション

良夫 合併しなかった場合の太良町の施策可能経費は81億円だね。合併後の「まちづくり計画」にあげてある建設事業は総額約90億円だけど、この中には病院のように特別会計の事業も含まれるから普通会計の事業費はもっと少なくなる。ということは、合併しなくても、太良で必要な建設事業はほとんどできると言うことだね。

太郎 合併しなければ、公共事業の財源が出てこないというのはウソだということがこれでわかる。

良夫 太良町町を残して、学校改築、道路整備、圃場整備、漁港整備などの公共事業を確保する、業者は地元優先にする---この方が町内の建設会社やそこで働く町民のためになるね。

「企業ぐるみ」は住民投票の精神に反している

良夫 これまで、いろんな選挙で、企業が特定の候補者を推薦し、従業員に投票を押しつける「企業ぐるみ選挙」というのが問題になったね。

太郎 合併問題の住民投票も同じだ。1人1人の町民が合併に賛成・反対を判断して決めるのが住民投票の精神だ。今度の住民投票では、絶対に「企業ぐるみ選挙」みたいなことをやらせてはいけない。これを、町民の声にしていこう。

佐賀新聞
六月七日

お願い
ビラ発行、看板などに資金を必要としています。資金カンパにご協力下さい。